



六

普 建 第 9 号
平成 19 年 5 月 1 日

国土交通省 道 路 局 長 殿

岩手県普代村長 深 渡 宏



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号にて依頼のありました標記の件について別紙
のとり回答します。

中期的な計画の作成にあたっての意見

1、重点化を進める上で特に優先度の高い政策

物流道路ネットワークの未整備地域は、その経済交流基盤のハンデから農林水産業の停滞と過疎化の進行などで地域活力がどんどん衰退をし、美しい国、地方づくりに強い歯止めがかかり続けております。この解消には、早急な高規格流通陸路の整備が最も効果的であり、三陸沿岸や日本海側地域などでのネットワーク完成に優先的に取り組んで頂きたいと思っております。その結果が医療を始めとする諸々の格差是正、地方の自立、日本国の自給率と食の安全の向上に繋がるものであると思っております。また、災害時に基幹道路が寸断され救援物資もライフライン復旧資材も搬入されない孤立状態になることを三陸沿岸住民は最も恐れるところであります。強く、安全・安心に拠点市部に繋がっている基幹道路を確実に確保しておいていただきたいと思っております。

- ・ 地方の物流基盤となる高規格ネットワークの早期完成
- ・ 災害に心配のない安全安心な基幹道路の整備

2、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

納税者等の理解を得ての道路整備にはコスト削減が重要であり、建設面においては、新技術の開発とその活用これまで以上に積極的に取り組むことが肝要でありますし東北地方以北での冬季施工は前倒し等を進めることで少なくしていく方向を考えるべきと思っております。

また、管理コスト面については身近な路線についての可能な範囲での住民の力を活用した維持管理システムの構築を進められれば削減が図られると思っております。

- ・ 建設コスト削減に資する新技術の徹底開発
- ・ 管理コスト低減のための沿線住民力の活用

3、その他

より進む市町村合併、そして道州制が検討される中では、都市や中心市等への人、物の流れは加速していくものと思われませんが、それでも食料供給等は地方の各地域が必ず担うはずでありますし、環境・国土保全面からも益々地方を重視してもらわなければ美しい国はできあがらないものであります。公共交通に乏しい地域での自動車交通の重要性を再確認いただきネットワークづくりに集中投資をし、地方の資源と力を引き出し活用する道路政策を進めていただきたいと存じます。

- ・ 地方の力を引き出し、大いに活用する道路政策を。